

ICT を活用した授業のイメージをつくりましょう

教科 ・ 領域等	美術
授業タイトル・単元名等	パッケージデザイン
対 象 学 年	中学 3 年
実 施 場 所	美術室
I C T 活用授業の内容	授業のねらい 市販されているペットボトルのラベルをパワーポイントを使用して鑑賞し、なぜこの商品は売れているのか良いところを探す。それを班ごとに話し合い、発表して自分自身の考えを深める。この鑑賞を次時からのオリジナルのパッケージデザインの制作に活かす。 授業の流れ まず、パワーポイントを使って市販されているペットボトルを元にパッケージデザインとは何かを知る。 教師がある商品について、ネーミングやロゴ、模様などを中心によさを語る。 ↓ 自分が興味のある飲料水のジャンルに班分けする。 (お茶、ジュース、コーヒー/紅茶、スポーツドリンク、水) ※前もって生徒にペットボトルのラベルを一枚持参するように言う。 ↓ ワークシートに、自分たちの選んだパッケージのいいところを班で相談して記入する。 ↓ 班ごとに、話し合った意見などを発表する。 聞いている生徒はいい意見をメモする。 I C T 活用のねらいと授業での位置づけ 実際に市販されているパッケージを改めて鑑賞することによって、ひとつひとつに工夫があり考えられてつくられているということを知る。そこから、自分たちのオリジナルのパッケージを制作する際のヒントにもなる。

	参考作品など鑑賞する際も、後方の席の生徒にも見やすく、注意を引きやすいのでプロジェクタは効果的である。
活用する ICT メディア	コンピューター（パワーポイント）、スクリーン、プロジェクタ
活用するコンテンツ等	